

Japan Clinical Oncology Group(日本臨床腫瘍研究グループ)
放射線治療グループ

科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)
「頭頸部癌に対する強度変調放射線治療における臓器特異的耐容線量の解明」
国立がん研究センター研究開発費 2020-J-3
「成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究」班

JCOG1015A1

頭頸部癌に対する強度変調放射線治療における臓器特異的耐容線量の 観察研究計画書 ver. 1.0

Analysis of dose/volume/outcome data for risk organs following IMRT
for head and neck cancer

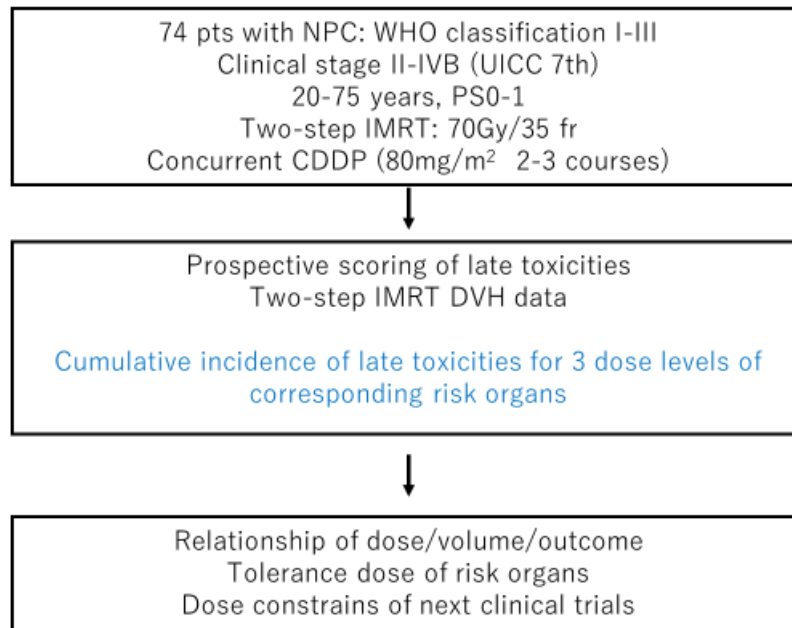
グループ代表者:西村 恭昌
近畿大学病院放射線治療科

研究代表者:西村 恭昌
近畿大学病院放射線治療科
〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東 377-2

研究事務局:稲田 正浩
近畿大学病院放射線治療科
〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東 377-2

0. 概要

0.1. シェーマ



0.2. 目的

本附随研究は、日本臨床腫瘍研究グループ(JCOG)放射線治療グループで行った「上咽頭癌に対する強度変調放射線治療(IMRT)の多施設共同第Ⅱ相試験(JCOG1015)」のデータセットを基に、線量体積ヒストグラム(DVH)データと晩期有害反応との線量効果関係を探索的に検討し、臓器特異的耐容線量を推定することを目的とする。本附随研究は、今後の検証的研究を経て、頭頸部癌に対する臨床試験における線量制約設定の基礎データとなる。

0.3. 対象

JCOG1015に登録された75例のうち、化学放射線療法8Gy/4回の時点で、以後のプロトコル治療を拒否した1例を除き、プロトコル治療開始181日以降の晩期有害反応を検討できた74例。

0.4. 方法

JCOGデータセンターで保管しているJCOG1015の晩期有害反応の既存データと、本附随研究で得られる放射線治療品質保証事務局の線量体積ヒストグラム(DVH)データをもとに、線量効果関係を探索的に検討し、臓器特異的耐容線量を推定する。

0.5. 予定登録数と研究期間

登録患者数: 74人

解析期間: 1年。総研究期間: プロトコル承認後2年

0.6. 問い合わせ先

研究事務局: 稲田 正浩

近畿大学病院放射線治療科

〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東 377-2